

# 第18回全国スペシャルトランポリン交流大会 実施要項

- 主催 : 公益財団法人日本体操協会
- 主管 : 公益財団法人日本体操協会トランポリン委員会
- 協力 : NPO法人つばさの会
- 協賛 : 募集中
- 開催日 : 2025年3月29日(土)・30日(日) 【競技の部・発表の部】
- 会場 : 足立区総合スポーツセンター 3階 大体育室  
(東京都足立区東保木間2丁目27-1)
- 競技 : **【競技の部】** 知的障がい者部門・身体障がい者部門
- 10種目
- 小学生・中高生・一般 各男子、女子別
- Aクラス・Bクラス
- SS・Sクラス(規定導入)
- 5種目
- ※ 1クラス14人を超えた場合には、申込時に申請する、実施予定難度を元にグループ分けを行う
- 発表 : **【発表の部】** 知的障がい者部門・身体障がい者部門
- 自由・シンクロ
- 規則 : 公益財団法人日本体操協会トランポリン競技規則、及び全国スペシャルトランポリン交流大会特別規則に準じて行う。
- ◇ トランポリン競技の採点方法については下記サイトをご覧ください。  
[https://www.jpn-gym.or.jp/trampoline/spectator\\_guide/tra\\_judging/](https://www.jpn-gym.or.jp/trampoline/spectator_guide/tra_judging/)
- 器具 : ユーロトランポリン(4mm×4mm テープベッド)
- 参加資格 : 公益財団法人日本体操協会の登録を済ませた者
- ※ 2025年1月10日までに登録を完了すること
- 知的障がい、身体障がいのあるものが参加できる
- 参加選手または所属団体は傷害保険に加入していること
- 表彰 : 各クラスとも全員を表彰する
- 参加料 : 競技の部 3,000円
- 発表の部 自由 1,000円 シンクロ 1組2,000円

申込方法 : 参加申込書を E-mail でお送りください。  
提出先 : [tsubasa-trampoline@oasis.ocn.ne.jp](mailto:tsubasa-trampoline@oasis.ocn.ne.jp)  
担当 : 障がい者トランポリン部 齋藤  
※競技カードは、必要事項を記入し、大会当日の朝に受付でご提出ください。

締 切 り : 2025 年 1 月 17 日 (金)  
※ 期日を過ぎての申込みはできません。

振 込 先 : 振込口座  
銀行名 三菱UFJ銀行 支店名 渋谷中央支店  
普通口座 0352258  
口座名義 ザイ)ニホンタイソウキョウカイ  
※ 振込者名の頭に「202503」を付けてください。

ご依頼人の欄には、「株式会社」や「特定非営利活動法人 (NPO)」「一般社団法人」などは除いてカタカナ 10 文字でチーム名がわかるように振込してください。

※振込手数料等は各自ご負担ください。

※申込締切後のキャンセルに伴う返金はいたしません。

# 全国スペシャルトランポリン交流大会 特別規則

(1)競技はSSクラスは規定演技と自由演技の合計点で、SクラスとAクラス、Bクラス、5種目クラスは2回の自由演技の合計点で順位を決定する。

## (2)審判団構成

SSクラス・Sクラス			Aクラス・Bクラス・5種目クラス		
主審	1名		主審兼難度審	1名	
難度審	2名		難度審	1名	
移動審	2名		移動審	2名	
演技審	4名	合計 9名	演技審	3名	合計 7名

※ただし、審判員の状況により、弾力的に編成します。

(3)得点 総得点は難度得点、移動得点、演技得点の合計点からなる。

総得点＝演技得点（最大20点）＋移動得点（最大10点）＋難度得点－ペナルティー

### 3-1 移動得点

2名の審判の移動得点の平均を有効得点とする。

### 3-2 演技得点

SSクラス、Sクラスの演技得点は4名の演技審判の得点の中間得点2つを演技得点とし、Aクラス、Bクラス、5種目クラスの演技得点は3名の演技審判の得点の合計点を演技得点とする。

※ 5種目クラスは従来10点満点での採点を行ってきたが、今回から有効本数の満点の演技得点から各審判が減点する。（各演技審判5点満点）

※ 跳躍時間点はなしとする。

(4)声かけ、模倣について（Bクラスのみ）

4-1 声かけ、模倣<写真、カード等の使用含む>をする指導者、コーチは補助台の上のまっすぐな所のみとする。

4-2 各方向1名のみとし、最大2名の指導者、コーチを認める。

4-3 台の下、フレームパット、補助台の傾斜のある場所での声かけは認めない。

4-4 台の上に上がった指導者、コーチは必ず直立状態から行う。（安全性の考慮）

(5)使用種目の制限等

5-1 「膝落ち」「四つん這い落ち」「ターンテーブル」は演技種目として認められる。

※ 側方向軸の技はターンテーブルのみとする。

※ 「四つん這い→1/2捻り四つん這い」は認めない。

5-2 SSクラス、Sクラス以外の部門は宙返り（重心が頭部より上になる種目）は演技構成の中に入れてはいけない。

(6)タイムオーバーについて（Aクラス・Bクラス 5種目クラスのみ）

合図から121秒以内で演技開始されない場合0.6のペナルティーがなされ、再度そのグループの最後にもう一度のみ演技することを可能とする。

(7)タイブレイク（同点）について

以下の方法で順位を決定する。

1. 2回目の演技のE得点の最も高い選手
2. 2回目の演技のHD得点の最も高い選手
3. 1回目、2回目のE得点の合計が最も高い選手
4. 1回目、2回目のHD得点の合計が最も高い選手

(8)規定演技について

個人10種目SS規定

1. タックバック
2. ストラドルバウンス
3. タックバラニー
4. タックバウンス
5. タックバック・シート
6. 1/2 スタンド
7. 1/2 ピルエット
8. パイクバウンス
9. 1/2 フロント
10. スタンド